

講 義 要 項

	地域・在宅看護論援助論Ⅱ	担当者	畑中 勇二		
区 分	単位数	時間数	授 業 形 態		履修年次・前／後
	1 単位	30 時間	講義・演習		2年次・後期
授 業 目 標					
基本的な看護技術を応用し、生活状況や個人のニーズに応じた援助方法を、創意工夫して提供する看護の実際を解釈できる。					
単元名	目 標	内 容	時間	単位	授業方法
1. 日常生活を支える基本的な技術	日常生活を総合的にとらえ、動作分析をもとに必要な援助を見極める方法について解釈できる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. コミュニケーション 2. フィジカルアセスメント 3. 生活リハビリテーション 4. 感染予防 5. 環境整備 6. エンドオブライフケア 	6		講義
2. 在宅での日常生活援助	在宅で求められる日常生活援助技術を学び、療養者・家族の状態や状況に応じた看護実践方法について理解できる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日常生活におけるケアの実際 <ol style="list-style-type: none"> 1) 呼吸 2) 食生活・嚥下 3) 排泄 4) 移動・移乗 5) 清潔 6) 睡眠 2. 社会資源の活用と調整 	5		講義 演習
3. 医療処置・医療管理を必要とする療養者の看護	在宅における医療処置・医療管理の実際を学び、必要とされる看護について説明できる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療ケアの原理原則 2. 褥瘡予防とケア 3. 輸液管理 <ol style="list-style-type: none"> 1) 在宅中心静脈栄養法 2) 末梢静脈栄養法 4. 在宅人工呼吸療法 <ol style="list-style-type: none"> 1) 非侵襲的陽圧人工呼吸 (NPPV) 2) 気管切開下陽圧人工呼吸 (TPPV) 5. 在宅酸素療法 6. 自己導尿 7. 薬物療法 8. 疼痛管理 	18		講義 演習
		修得試験	1	1	
参 考 文 献 等	1. 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論 (2) 地域・在宅看護の実際, 医学書院.				
評 価	1. 単位修得試験				
備 考	実務経験：訪問看護師としての豊富な知識・経験をもとに授業を行う。				